



製造販売元  
東和薬品株式会社

販売元  
共創未来ファーマ株式会社

A000004700  
2024年3月作成

エスタロプラムOD錠「トーフ」  
を服用される  
社交不安症(SAD)の  
患者さんご家族の方へ



SAD : Social Anxiety Disorder 社会不安障害、社交恐怖とも呼ばれることがあります。  
エスタロプラムOD錠の効能・効果は社会不安障害です。

## 1 治療を始めるにあたって

社交不安症(SAD)に有効とされている治療には「薬の服用」と「精神療法」があります。治療を始めるにあたり、気になることがあったら主治医に相談してみましょう。

### 治療の最終ゴール



学校で生活が可能に

仕事や社会生活がスムーズに



地域との交流を抵抗なく

SADの治療の最終的な目標は“あなたらしく自信をもって社会生活を送っていくこと”です。

## 2 社交不安症(SAD)になる原因

「脳内の情報伝達信号の乱れ」と本人に「不安を感じやすい性格傾向」があることが、SADを発症する大きな原因と言われています。

### 原因1 脳内の情報伝達信号の乱れ

SADの人は不安な状況に対し、健康な人よりも脳の反応が過敏になっています。また、脳内の神経伝達物質のバランスが乱れ、特に「恐怖・不安」を和らげる役目を果たすセロトニンの量が低下していると考えられます。

### 原因2 不安を感じやすい性格傾向

「真面目」や「心配性」など、元々の気質として、SADになりやすい性格傾向があることもわかっています。

これら以外にも、緊張や不安を感じやすくなる社会環境も背景にあると言われています。

### 3 社交不安症(SAD)の特徴

SADには、社交場面に対する不安や緊張、またはその状況を回避してしまうことによって、社会生活の妨げになる可能性がある下記のような特徴があります。

SADは決してあなたの性格の問題ばかりではありません。適切な治療をすれば改善する可能性があります。



## SADの特徴

人前で話すことが  
極度に怖い・緊張する



周囲からの視線が  
極度に怖い



注目されると緊張で  
赤面する・汗をかく



人前で電話をかけるのが  
怖い



人と接するのが  
極度に怖い・緊張する



人前で文字を書くとき、  
手が震えて書けない



人前で食事ができない

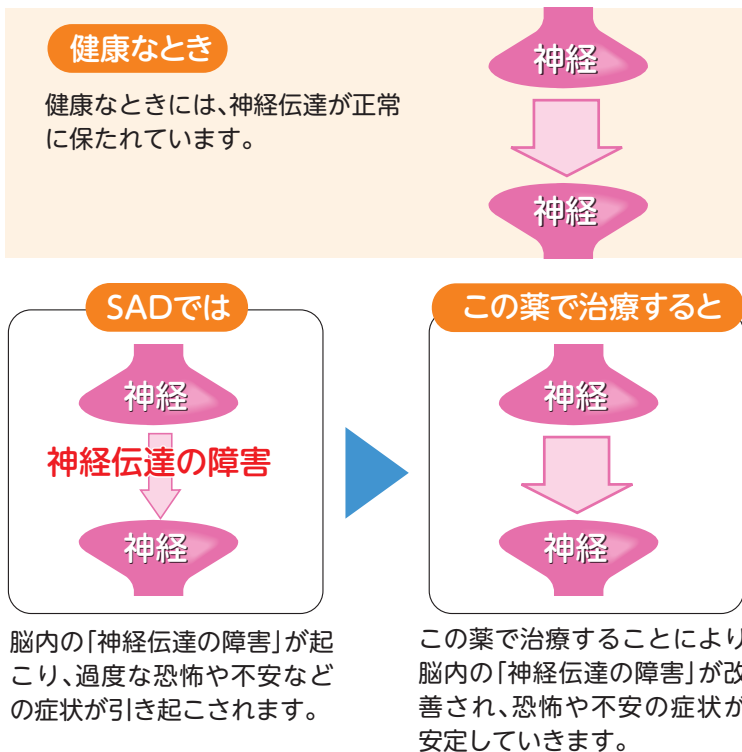


周囲に人がいると  
用を足しにくい



## 4 エシタロプラムOD錠とは

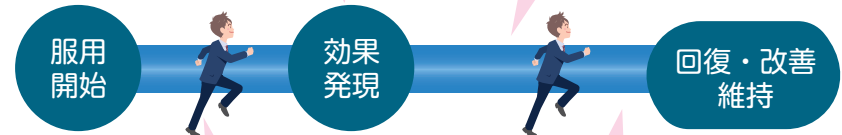
この薬は、社交不安症(SAD)を改善する薬です。  
服用後に脳内に作用し、脳内の神経伝達物質のバランスを整えることで、SADによる過度な恐怖や不安を和らげます。



## 5 治療の効果

我慢できないような極度な不安が減ってきて、効果を実感できるようになってきます。  
実感できるまでには個人差があり、数週間～数ヵ月かかります。

効果を実感できても自己判断で服用を中止せずに「正しい方法で飲み続ける」ことが大切な薬です。



服用初期には悪心などの副作用があらわれることがあります。

極度な不安を感じる事が少なくなり、通常の社会生活を送ることができるようになっていきます。

この薬は効果が現れるまでに数週間～数ヵ月の時間がかかることがあります。服用を始めた初期または服用期間中には主に

- 悪心
- 眠気
- 頭痛

などの副作用があらわれることがあります。

副作用がきつから、または不安症状がなくなってきたから、といって自己判断での服薬中止・減薬はせず、必ず主治医に相談し、主治医の指示に従ってください。急な服薬中止は、副作用の悪化や不安症状の悪化につながる可能性があります。

※服薬中の注意点についてはP10を参照してください

## 6 この薬の服用前の注意点

次のような場合には、この薬を使用することができません。  
服用する前に、必ず主治医に相談をしてください。

- ① 以前エスタロプラムOD錠「トーフ」に含まれる成分で、アレルギーなどの過敏症が出たことがある方。
- ② セレギリン塩酸塩、ラサギリンメシル酸塩、サフィナミドメシル酸塩を服用中、あるいは服用中止後14日以内の方。
- ③ ピモジドを服用中の方。
- ④ QT延長のある方(先天性QT延長症候群など)  
一現在、心臓の病気(不整脈、狭心症、心筋梗塞、心不全)の治療を受けていたり、今まで心電図検査で何らかの指摘を受けたりしたことがある方は、QT延長がある可能性がありますので、主治医にお伝えください。

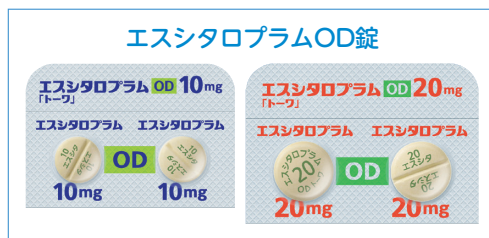
他の薬を服用している場合や、新たに服用する場合は、主治医に相談してください。

次のような場合には、この薬を使う際に特に注意が必要です。  
服用する前に、主治医と十分に相談してください。

- ◆QT延長を起こすことが知られている薬を使用している方、うっ血性心不全、低カリウム血症のある方。
- ◆CYP2C19(エスタロプラムを分解(代謝)する酵素)の活性が遺伝的に欠損している方(Poor Metabolizer)。
- ◆死にたいと強く思ったり考えたりしたことがある方。
- ◆躁うつ病の方。
- ◆脳に器質的な障害があると診断されたことがある方、または統合失調症になることが考えられる方。
- ◆衝動的な行動を起こしやすい病気を合併している方。
- ◆てんかん等のけいれん性疾患のある方、または過去にこれらの疾患と診断されたことがある方。
- ◆出血の危険性を高める薬剤を使用している方、または出血しやすい方。
- ◆閉塞隅角緑内障の方。
- ◆肝臓に障害、または腎臓に高度の障害のある方。
- ◆妊婦または妊娠している可能性のある方。
- ◆授乳中の方。
- ◆小児。
- ◆高齢の方。

## 7 この薬の服用方法

1日1回、夕食後に決められた錠数を服用してください。



この薬は水なしでも飲むことができます。

- 舌の上で唾液を含ませ軽くつぶしてから唾液と一緒に飲み込んでください。
- 水なしで飲むときは、寝たままで飲まないでください。
- 普通の薬と同様に、水またはぬるま湯で飲むこともできます。どちらの飲み方でも効き目は変わりません。

## 8 服用中の注意点

この薬を服用しているときには、次のようなことに注意してください。

- 飲み忘れないように、毎日夕食後にきちんと飲みましょう。**  
飲み忘れても、一度に2回分を飲まないでください。間違えて多く飲みすぎてしまったときには、主治医に連絡してください。

- 定期的に診察を受けましょう。**  
社交不安症の治療中は、薬の効果の確認や副作用を早く見つけるためにも、定期的に診察を受けてください。
- 「治った」と感じて、飲み続けましょう。**  
症状が少しずつ良くなると、「治った」「回復した」と感じる場合があります。このような場合でも、自分の判断でお薬の服用をやめたり、量を減らしたりすると、些細なことでも心配になる、いらいら、あせりなどの症状があらわれることがあります。主治医と相談しながら、指示どおりに飲み続け、最後まで治療を続けてください。
- 次のような症状があらわれた場合は、すぐに主治医や薬剤師に相談しましょう。**
  - 不安感が強くなり死にたいと思うなどの症状があらわれた場合。特に飲みはじめや飲む量を変更したときに、このような症状が出ることがあります。
  - 不安感が急に強くなる、いらいらする、あせる、興奮しやすい、発作的にパニック状態になる、ちょっとした刺激で気持ちや体の変調をきたす、敵意を持つ、攻撃的になる、衝動的に行動する、じっとしていることができないなどの症状があらわれた場合。
- ご家族の方は、患者さんの状態を観察し、変化がみられた場合は主治医や薬剤師に相談しましょう。**  
ご家族の方は、患者さんの状態が④のように変化する可能性について、主治医から十分に説明を受け、患者さんをよく観察してください。また、患者さんご自身も症状に変化があったと感じた場合には、ご家族の方に伝えるようにしてください。
- 次のような症状があらわれた場合は、主治医や薬剤師に相談してください。**
  - 悪心 ●眠気 ●頭痛 ●口の渇き ●めまい
  - 倦怠感 ●下痢 ●腹部不快感 などまた、射精障害、射精遅延、性的な関心や性欲の低下などの症状を自覚された場合。